

## 【著者紹介】

### ●賀来 康一（かく こういち）

現職 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構  
畜産草地研究所 主任研究員

生年 1959年

最終学歴 東京大学大学院農学系研究科 畜産獣医学専攻、農学博士

主要職歴 農林水産省入省、  
農林水産省畜産試験場主任研究官、  
独立行政法人畜産草地研究所主任研究員

主な著書、論文

- 1) Approximation of baselines and greenhouse gas reduction scenarios for a small-scale Clean Development Mechanism on agriculture and livestock in ASEAN (2008), Australian Journal of Experimental Agriculture, 48, 248-250.
- 2) Hedading for Clean Development Mechanism on Reductions of Greenhouse Gas Emissions in Japanese Domestic Livestock Industry (2006), Laos Journal on Applied Science. Vol. 1, No.1, p684-687
- 3) Environmental Impacts on Concentrate Feed Supply Systems for Japanese Domestic Livestock Industry as Evaluated by a Life-Cycle Assessment Method (2005), Asian-Aust. J. Anim. Sci. 2005. Vol. 18, No.7, p1022-1028.,
- 4) Achieving a Nitrogen Balance for Japanese Domestic Livestock Waste: Testing the Scenario of Planting Feed Grain in Land Left Fallow (2004), Asian-Aust. J.Anim.Sci. 2004. Vol. 17, No.7, p1026-1032

### ●池口 厚男（いけぐち あつお）

現職 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構  
畜産草地研究所 上席研究員

生年 1960年

最終学歴 筑波大学大学院農学研究科 農林工学専攻 農学博士

主要職歴 筑波大学助手  
農林水産省畜産試験場  
米国アイオワ州立大学客員研究員  
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 本部  
独立行政法人農業工学研究所  
独立行政法人畜産草地研究所

主な著書、論文

- 1) Evaluation of sustainability with entropy and nitrogen flow in Japanese animal-arable

production system (2007). Proceeding of J-CH seminar, 80-90

2) Contaminant air propagation between naturally ventilated scale model pig buildings under steady-state conditions (2005). Biosystems engineering, 90(2) 217-226

3) Windward windbreak effects on airflow in and around a scale model of a naturally ventilated pig barn.(2003). Transactions of the ASAE, 46(3), 789-795

4) A case study of drying wet floors with mixing fans in free-stall dairy housing.(2003). Transactions of the ASAE, 46(2), 435-441

●**芹田 敏夫**（せりた としお）

現職 青山学院大学 経済学部教授

生年 1963年

最終学歴 大阪大学大学院経済学研究科前期課程修了

主要職歴 甲南大学経済学部助教授を経て現職

主な著書、論文

『日中取引データから見た日本の株式市場の基本特性』（青山経済論集第51巻 1999年）

『日中気配値データを用いた日経平均オプションの実証分析』（青山経済論集第52巻 2000年）

『金先物市場の日中の価格形成と流動性：取引データに基づく実証研究』（東京工業品取引所 市場構造研究所ワーキングペーパーNo. 05-01 共同 2005年）

●**坂本 智幸**（さかもと ともゆき）

現職 財団法人日本エネルギー経済研究所

地球環境ユニット 地球温暖化政策グループ研究員

生年 1974年

最終学歴 2002年 青山学院大学 経済学研究科 博士前期課程

主要職歴 2001年（財）日本エネルギー経済研究所 入所

2003年 東京工業品取引所 市場構造研究所 出向

2006年 現職

主な著書、論文

「パネルデータを使った二酸化炭素排出における主要国の個別特性に関する一考察」（共著）、2007年、第21回応用地域学会発表論文

「取引メカニズムが異なる市場間競争が価格形成に与える影響：二つのガソリン先物市場の比較分析」（共著）、2006年、第14回日本ファイナンス学会発表論文

●山岡 博士（やまおか ひろし）

現職 東京工業品取引所 市場構造研究所 事務室長

生年 1964年

最終学歴 東京大学工学部都市工学科卒

主要職歴 大和銀行（現りそな銀行）を経て

1996年に東京工業品取引所に入所、現在に至る。

現在は排出量取引や電力取引等の東京工業品取引所の新規上場商品の調査ならびに市場制度改善のための市場マイクロストラクチャー研究等を担当。

主な著書、論文

「経済分析第136号；資産市場と景気変動」（共著：旧経済企画庁経済研究所1994）

「経済分析第139号；第5次版 EPA 世界経済モデル」（共著：旧経済企画庁経済研究所1995）

「京都議定書目標達成に向けて望ましい国内制度設計」（共著、TOCOM スクエア第1号 2005）

「石油のすべて」（共著：時事通信出版社2007）

共訳：「市場と取引」（東洋経済新報社2006・原著「Trading and Exchanges」Larry Harris, Oxford University Press 2003）

●坂内 久（ばんない ひさし）

現職 農村金融研究会 主任研究員

生年 1954年

最終学歴 東北大学大学院農学研究科博士課程単位取得満期退学（農学博士）

主要職歴 千葉大学園芸学部非常勤講師を経て現職

主な著書、論文

坂内久・大江徹男共著（2006年）「ミネソタ州のエタノール生産にみる地域の雇用創出—新世代農協の事例から—」『地域経済学研究』第16号、日本地域経済学会

『総合農協の構造と採算問題』日本経済評論社、2006年

「我が国の農産物先物取引」農林中金総合研究所編『国内農産物の先物取引—リスク管理手法としての可能性—』家の光協会、2001年

●大江 徹男（おおえ てつお）

現職 明治大学農学部 准教授

生年 1961年

最終学歴 京都大学大学院経済研究科博士課程単位取得満期退学（経済学博士）

主要職歴 農林中金総合研究所 主任研究員

主な著書、論文

大江徹男・坂内久・松原豊彦共著（2007年）「アメリカ・カナダ間における養豚産業の国際分業化の促進要因」『農林業問題研究』167号、地域農林経済学会

『アメリカ食肉産業と新世代農協』日本経済評論社、2002年

「アメリカの物先物取引」農林中金総合研究所編『国内農産物の先物取引ーリスク管理手法としての可能性ー』家の光協会、2001年

### ●松原 豊彦（まつばら とよひこ）

現職 立命館大学経済学部 教授

生年 1955年

最終学歴 京都大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学（経済学博士）

主要職歴 宮城学院女子大学 助教授を経て現職

主な著書、論文

「NAFTA 経済圏の形成と北米農産物市場の〈一体化〉」『農業経済研究』第79巻第2号、日本農業経済学会（2007年）

「世界の食料事情と多国籍アグリビジネスによる食料支配」

大塚茂・松原豊彦編『現代の食とアグリビジネス』有斐閣、2004年

『カナダ農業とアグリビジネス』法律文化社、1996年

### ●森田 憲（もりた けん）

現職 広島大学大学院社会科学部研究科教授

生年 1947年

最終学歴 東京大学大学院経済学研究科博士課程

主要職歴 小樽商科大学商学部助教授、教授を経て現職

主な著書、論文

『中欧の経済改革と商品先物市場』、2002年、多賀出版。

Economic Reforms and Capital Markets in Central Europe, 2004, Ashgate Publishing(UK).

“Development Strategies and Income Disparities in China: Comparisons with Central Europe”, 2006, Economic Papers (Warsaw School of Economics, Institute for International Studies, Warsaw, Poland), Vol.40 (with Yun Chen).

“A Comparative Analysis of Japanese Foreign Direct Investment in Central Europe and China”, 2008, J.Pickles (ed), Globalization and Regionalization in Post-Socialist Economies, Palgrave Macmillan (USA) (with Yun Chen).

Transition, Regional Development and Globalization, 2008, World Scientific Publishing

(USA) (with Yun Chen).

●陳 雲 (ちえん ゆん)

現職 復旦大学国際関係與公共事務学院副教授

生年 1970年

最終学歴 広島大学大学院国際協力研究科博士課程

主要職歴 復旦大学国際関係與公共事務学院講師を経て現職

主な著書、論文

“The Economic Development and Regional Disparity of the Yangtze River Delta”, 2006, Economic Papers (Warsaw School of Economics, Institute for International Studies, Warsaw, Poland), Vol.40.

“Development Strategies and Income Disparities in China: Comparisons with Central Europe”, 2006, Economic Papers (Warsaw School of Economics, Institute for International Studies, Warsaw, Poland), Vol.40 (with Ken Morita).

Transition and Development in China: Towards Shared Growth, 2008, Ashgate Publishing (UK).

“A Comparative Analysis of Japanese Foreign Direct Investment in Central Europe and China”, 2008, J.Pickles (ed), Globalization and Regionalization in Post-Socialist Economies, Palgrave Macmillan(USA) (with Ken Morita).

Transition, Regional Development and Globalization, 2008, World Scientific Publishing (USA) (with Ken Morita).

●森保 洋 (もりやす ひろし)

現職 長崎大学 経済学部 准教授

生年 1970年

最終学歴 1998年、九州大学大学院経済学研究科博士課程修了

主要職歴 長崎大学経済学部専任講師を経て現職。博士 (経済学)

主な著書、論文

『日経225先物の日中取引頻度 大阪証券取引所とシンガポール取引所の関連性』(共著)(生活経済学研究 第20巻2004年)、『ティック・データを用いた日経225先物の取引特性分析』(共著)(証券経済学会年報 第40号2005年)、『金先物市場の日中取引変動と取引時間間隔』(経営と経済 第85巻2006年)